

議会だより



令和元年 第3回定例会 9月5日～9月27日



第3回定例会

平成30年度各会計決算	P 2
人事・令和元年度補正予算等	P 4
審議結果一覧	P 6
常任委員会審査報告	P 7
一般質問(会派代表質問)	P10
一般質問(個人質問)	P12
行政視察調査報告	P16
市民と議員の意見交換会結果報告	P18

令和元年11月15日発行


発行：栃木県下野市議会

編集：議会だより編集委員会

ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

E-mail：gikai@city.shimotsuke.lg.jp

しもつけ市議会だよりは市ホームページでもご覧いただけます

下野市 市議会 



令和元年第3回定例会は、9月5日から9月27日までの23日間の会期中開催されました。市長提案（追加議案含む）により、諮問3件、同意6件、報告10件、平成30年度決算認定9件、令和元年度補正予算7件、条例の制定等9件の計44件が提出されました。

各常任委員会では、議案等の審査に先立ち、平成30年度に行われた事業箇所の現地調査を行いました。

一般質問では、3人の会派代表質問のほか、8人の議員が個人質問を行い、市の対応や考え方を問いただしました。

平成30年度決算をチェック 税金の使い方を確認しました

市長は、翌年度の予算を決める3月の定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査・確認を受けなければなりません。

9月6日に決算の内容の説明、代表監査委員からの審査報告があり、11日の本会議で総括質疑（5ページに質疑の一部を掲載しています。）、12～20日各常任委員会での審査を経て、27日の本会議で全ての決算を認定しました。

■平成30年度一般・特別会計歳入歳出決算 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	274億5719万6	257億2769万7
特別会計		
国民健康保険	57億3009万8	54億1513万8
後期高齢者医療	6億2123万5	6億1589万1
介護保険	43億2358万3	41億5758万0
公共下水道事業	19億 584万1	17億8254万2
農業集落排水事業	4億4039万8	3億9970万5
石橋駅周辺土地区画整理事業	1680万7	870万4
仁良川地区土地区画整理事業	6億5148万7	5億4107万3

■平成30年度水道事業会計決算(税込) (単位：千円)

区分	収入	支出
収益的収支	10億6774万6	8億5635万9
資本的収支	1億7982万6	6億 523万6

健全化判断比率は良好 健全財政を維持

30年度決算の健全化判断比率は、全会計で黒字決算となり、引き続き良好な財政状況が維持されています。

実質公債費比率は3.0%と昨年度よりも0.9ポイント改善されました。要因として、引き続き市税収入が安定し、合併前に借り入れた起債の償還額が減少する中、国の財政措置が手厚い合併特例債等の起債の償還額が増加していることが挙げられます。

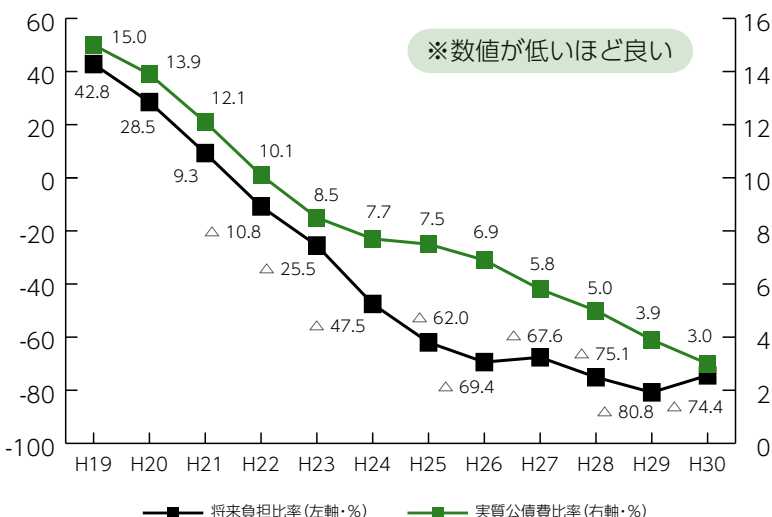
将来負担比率も、引き続きマイナスであり、健全財政が維持されています。

■主な財政指標

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
経常収支比率 (%)	85.5	80.9	86.2	87.1	87.0
財政力指数	0.801	0.795	0.782	0.768	0.760
実質公債費比率 (%)	6.9	5.8	5.0	3.9	3.0
将来負担比率 (%)※	△69.4	△67.6	△75.1	△80.8	△74.4

※△はマイナス、決算報告では数値は示さず「-」と表記される。

各年度の実質公債費比率と将来負担比率



■実質公債費比率

⇒地方税などの一般財源に占める公債費（借金の返済金）の割合を示す。18%を超えると借入に県の許可が、25%を超えると借入が制限される。

■将来負担比率

⇒将来負担すべき実質的な負債の割合を示す。地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含まれる。

一般会計決算

歳入(もらったお金)

274億5,719万6千円 (前年度比22億8,526万7千円 9.1%増)

内訳の大きなものを説明します。

●市税(市民税、固定資産税など。個人と法人がある)

97億6,133万8千円 (前年度比1.6%増)

- ・給与が上がり個人市民税増加
- ・景気が回復方向のため、法人市民税も増加
- ・個人住宅の新築・増築と企業の新規設備投資が増え、固定資産税が増加
- ・個人への課税の増減による影響が大きいのが下野市の特徴

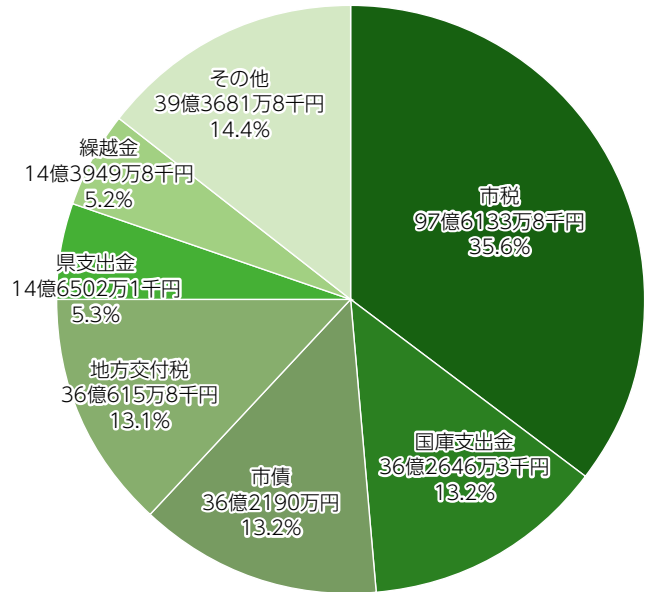
●国庫支出金(特定の事業のため、国から配分される)

36億2,646万3千円 (前年度比17%増)

- ・大松山運動公園拡張整備事業 6億5,406万1千円、児童手当負担金 6億3,258万4千円など

●市債(市の事業を行うために借りるお金)

36億2,190万円 (前年度比34.5%増)



歳出(使ったお金)

257億2,769万7千円 (前年度比19億9,526万5千円 8.4%増)

内訳の大きなものを説明します。

●普通建設事業費

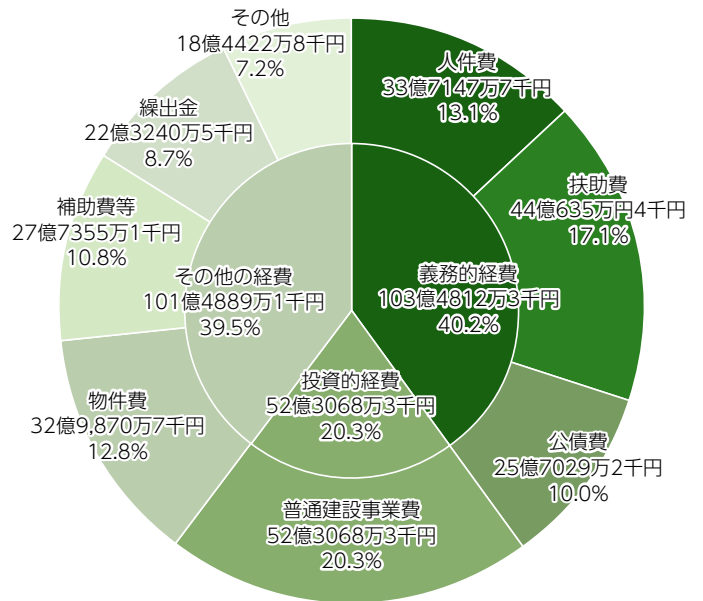
52億3,068万3千円 (前年度比41.3%増)

歳出の中で一番多く、20%を占めます。道路、学校、公園などの公共施設の建設や用地取得等の公共事業費です。

- ・大松山運動公園拡張整備事業 14億9,163万3千円
- ・石橋中学校大規模改修事業 4億6,207万9千円
- ・仁良川地区道路整備事業 4億2,690万5千円

●扶助費 44億635万4千円 (前年度比1.3%増)

歳出の17.1%を占めます。生活に困っている人や子育てをしている世帯、障がい者や高齢者などの生活を社会全体で支えるための経費です。児童福祉費、生活保護費、社会福祉費などがあります。



決算審査報告をする
大久保代表監査委員

平成29年の地方自治法改正により、地方行政におけるガバナンス確保のため、業務上のリスクを評価し、それに対応するための規範を整備・運用していく「内部統制」の規定が盛り込まれた。本市は努力義務にされているが、コンプライアンス指針の策定に併せて、より積極的に対応していくことが必要と考える。

特記事項

本市においては、総合計画前期基本計画の最終年度である令和2年度に、合併特例事業債の発行期限が到来する。今後、産業団地造成や石橋複合施設など様々な大型事業が控えていることから、より一層厳格な財政見直しを立てる必要がある。

健全で持続可能な財政運営

監査委員決算審査意見

人事

人権擁護委員の推薦

本年12月31日をもって、任期満了となる3氏について、再任として推薦することを全会一致で了承しました。

氏名	住所	新・再
中川 賢一	石橋	再任
津野田 久江	石橋	再任
永山 登志子	川中子	再任

政治倫理審査会委員の選任

任期満了となる政治倫理審査会委員について、左記のとおり全会一致で同意しました。

氏名	役職・住所	新・再
市村 充章	大学教授	再任
田中 民樹子	弁護士	再任
大久保 芳雄	元栃木県警察学校校長	再任

【公募委員】

山口 哲	下古山	新任
若崎 義和	祇園5丁目	新任
稲葉 一雄	小金井1丁目	新任

令和元年度一般会計補正予算 幼保無償化による予算を計上

一般会計は、歳入・歳出それぞれ6億8107万1千円を追加し、予算総額を281億8858万7千円としました。

歳入では、令和元年度普通交付税の交付額の確定による3億581万2千円を追加したほか、国庫補助金の子ども・子育て支援臨時交付金1億440万5千円、子どものための教育・保育給付交付金7130万8千円等を追加しました。

歳出においては、10月からの幼児教育・保育の無償化による、教育・保育施設給付費委託料1億7160万9千円、扶助費2200万3千円や市道整備事業、天平の丘公園内トイレ改修等の予算を計上しました。



(単位：千円)

令和元年度各会計補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計 第4号	6億8107万1	281億8858万7	
特別会計	国民健康保険（第1号）	6051万0	55億6486万5
	後期高齢者医療（第1号）	534万3	6億5234万2
	介護保険（第1号）	1億2675万6	44億6818万6
	石橋駅周辺土地区画整理事業（第1号）	810万2	1772万0
	仁良川地区土地区画整理事業（第1号）	8536万4	5億2988万7

(単位：千円)

令和元年度下水道事業会計補正予算（第1号）

区分	補正額	補正後の予算額	
収益的収支	収入	704万4	21億1514万5
	支出	1015万4	18億7749万7

第3回定例会 会期日程

9月5日 本会議【開会】

（一部表決、報告、議案の説明）

6日 本会議

（30年度決算の説明、監査委員審査結果報告）

9日 本会議

（会派代表質問、一般質問）

10日 本会議

（一般質問）

11日 本会議

（議案の質疑、委員会付託）

12・13日

経済建設常任委員会（現地調査、付託案件審査）

17日

総務常任委員会（現地調査、付託案件審査）

19・20日

教育福祉常任委員会（現地調査、付託案件審査）

27日

本会議【閉会】（委員長報告、質疑表決）

※今定例会の傍聴者数

30名(延べ)

条例 その他

印鑑条例の一部改正

印鑑登録証の交付を受けている者から、サービスの利用申請があったときは、当該印鑑登録証に加え、利用者証明電子証明書が記録された個人番号カード（マイナンバーカード）を申請者に対して直接交付します。

森林環境整備促進基金 条例の制定

下野市における森林の経営管理に対することを目的として、間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林環境整備促進基金を設置します。

財産の貸付け

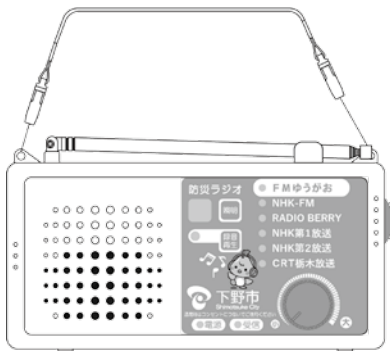
下野市コミュニティFM放送局の開設にあたり、放送事業者に土地、スタジオ建屋、放送設備を貸し付けます。

土地…祇園一丁目17番地（宅地 500平方メートル）
建物…スタジオ建屋（135平方メートル）

財産の取得

下野市防災ラジオは、下野市コミュニティFM「FMゆうがお」の電波を通じて、防災及び災害に関する情報を発信することにより、市民の安全安心の確保に資することを目的とします。
取得する財産の内容…
自動起動型防災ラジオ

取得価格 30000台
2706万円



防災ラジオのイメージ図

総括質疑

市長から提案された議案等について、疑問点等を問います。

市内公共交通運行事業(30年度一般会計決算)

問

1人1回当たりの運行経費の推移と、その金額が妥当であるのか伺う。

答

運行経費の推移は、平成28年度が892円、29年度が936円、30年度が1093円である。金額の基準の考え方として、県発行の平成30年度版「とちぎの公共交通」では、1人1回当たりの県内25市町のデマンド交通の平均運行費用が1332円であり、本市はこの金額を下回るので概ね妥当であると考えられる。

大松山運動公園拡張整備事業 (30年度一般会計決算)

問

当初の基本計画のイメージと実際の整備状況が異なる点が見受けられるが、その理由を伺う。

答

これもれび広場の整備で、平地林を保全活用すると計画していたが、樹齢の経過による根腐れや、台風等の強風で倒木の危険度が高まると判断し、伐採することになった。

会計年度任用職員の給与及び 費用弁償に関する条例の制定

問

公募によらない再度の任用は2回まで可とあるが、その後はどうなるのか。

答

その後の会計年度において任用を希望する場合は、新たに任用となるため、改めて応募してもらう。書類選考や面接等による選考を行い、任用されることになる。

【追】…追加報告

議会に報告があったもの（表決はありません）

議案等番号	案件名	内容
報告6号	平成30年度下野市一般会計継続費精算報告書	平成29年度からの継続事業4事業が終了したことによる精算報告。
報告7号	平成30年度下野市公共下水道事業特別会計継続費精算報告書	平成29年度からの継続事業（仁良川地区雨水管渠整備事業）1事業が終了したことによる精算報告。
報告8号	平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率	全会計が黒字決算。実質公債費比率は3.0%と良好な財政状態が続いている。
報告9号	平成30年度公益財団法人下野市農業公社の経営状況報告書の提出	農地利用集積円滑化事業、農作業受委託推進事業、営農集団及び農業生産法人育成事業など、平成29年度の事業報告。
報告10号	平成30年度株式会社道の駅しもつけの経営状況報告書の提出	平成30年度（第9期）の道の駅やふれあい館等の運営などの事業報告。売上は前年比100.9%。
報告11号	平成30年度一般財団法人グリの里いしばしの経営状況報告書の提出	ホール事業や企画展示事業など、平成30年度の事業報告。
報告12号	令和元年度下野市教育委員会点検・評価報告書の提出	平成30年度の教育委員会に関わる事務事業について、点検及び評価の結果を報告。
【追】報告13号	平成30年度下野市水道事業会計継続費精算報告書	平成28年度からの継続事業が終了したことによる精算報告。
【追】報告14号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償金額3万8,268円の決定。
【追】報告15号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償金額5,250円の決定。

第3回定例会の審議結果

議案等番号	付議事件	結果	坂村哲也	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	奥田勉	中村節子	大島昌弘	高橋芳市	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	磯辺香代	松本賢一	岡本鉄男	村尾光子
認定1号	平成30年度下野市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定2号	平成30年度下野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定3号	平成30年度下野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定4号	平成30年度下野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定5号	平成30年度下野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定6号	平成30年度下野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定7号	平成30年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定8号	平成30年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定9号	平成30年度下野市水道事業会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案28号	令和元年度下野市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案29号	令和元年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案30号	令和元年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案31号	令和元年度下野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案32号	令和元年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案33号	令和元年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案34号	令和元年度下野市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案35号	平成30年度下野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案36号	下野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案37号	下野市森林環境整備促進基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案38号	下野市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案39号	下野市印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案40号	下野市水道事業給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案41号	工事変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案42号	財産の貸付け	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
【追】議案43号	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

【追】…追加議案

○…賛成 ●…反対 (議長は表決に加わらない)

常任委員会報告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務

合併特例事業債(地方債) (30年度一般会計決算)

問

合併特例債の発行残額を伺う。

答

平成30年度までに198億円を発行している。残額は30億円。令和元年度は約27億円、発行期限となる令和2年度は約3億円を見込んでいる。満額活用できるように調整していきたい。

総務

地域おこし協力隊事業 (30年度一般会計決算)

問

アニメ事業を活用したプロモーションに従事したとあるが、協力隊が中心となり企画したのか。今後のあり方も含めて説明願う。

答

地域おこし協力隊は2名おり、採用されて約半年となる。これまでは多くの市民と交流してもらうことを目的に、さまざまなイベントに関わってきた。徐々に自ら事業を企画し、活動範囲を広げている。今後は関係人口を増やしていくための活動を、市と一緒に考え進めていく。



アニメを活用したプロモーション事業

総務

賦課徴収費 (30年度一般会計決算)

問

差し押さえ件数と金額を伺う。

答

件数は220件であり、換価された税額は3,986万8千円である。(差し押さえの内容は、給料・預貯金・生命保険など)

総務

狂犬病予防事業 (30年度一般会計決算)

問

接種頭数を伺う。

答

頭数は2,071頭であり、接種率は63.6%である。

総務

自治振興費 (元年度一般会計補正予算)

問

自治会公民館建設費補助の内容を伺う。

答

4つの自治会公民館の空調の新設、トイレや照明器具の改修・修繕に対する補助である。

総務

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

問

これまでの非常勤特別職から、会計年度任用職員に移行する方はどのような方か。

答

職員の補助的業務を行っている方が会計年度任用職員に移行する。社会教育委員や学校医等の特別な職を持つ方は、非常勤特別職として残る。

経済建設

夜明け前施設使用料
(30年度一般会計決算)

問

予算額が70万円のところ決算額が51万7,820円であるが、この要因は何か。

答

夜明け前施設使用料は、シモツケクリエイティブの売り上げに対しての使用料となるためである。

経済建設

有害鳥獣被害防止対策事業
(30年度一般会計決算)

問

被害が出た時に委託しているのか。また、庁用器具購入費の内訳を伺う。

答

有害鳥獣駆除隊に年間20万円で委託している。庁用器具購入費では箱ワナを2基購入した。

経済建設

水道事業
(30年度水道事業会計決算)

問

石綿セメント管の布設替えは何年かかるか伺う。

答

平成30年度には1,490メートルの更新工事を行った。約10キロメートル残となり、約10年を見込んでいます。

経済建設

産地づくりモデル地域育成事業
(元年度一般会計補正予算)

問

事業内容を伺う。

答

水田転換における露地野菜の拡大に取り組む産地に対して支援を行う。3年間で転換面積が10ヘクタール以上、もしくは販売額が5,000万円以上の目標を立てた事業に対して補助するものである。

現地調査を行いました 常任委員会で議案審査に先立ち事業の現地調査を行いました。

教育福祉常任委員会



むつみ愛泉こども園



石橋中学校大規模改修



大松山運動公園陸上競技場

経済建設常任委員会



市道1-8号線



農地中間管理機構ほ場整備(上古山)



仁良川地区雨水管渠整備

総務常任委員会



防災カメラ更新工事(下原地内)



薬師寺コミュニティセンター



コミュニティFMスタジオ

教育
福祉

民生委員児童委員活動事業
(30年度一般会計決算)

問 民生委員・児童委員108名の困りごとや悩みごとを共有できる場があるのか。

答 職員が2名出席する毎月の定例会や、役員会、研修会等で問題点などの話し合いをしている。今年度は改選時期のため、新任の民生・児童委員に対して研修をし、様々な状況を説明する予定である。

教育
福祉

こども通園センターけやき
運営事業 (30年度一般会計決算)

問 こども通園センターけやき(※)の利用人数を伺う。

答 30年度の登録者・利用者は57名である。1日当たりの平均は16名。年間延べ4,179回利用されている。

※こども通園センターけやき
市の放課後等デイサービス。障がいのある小学生から高校生を対象に、放課後や週末に学童保育のようなサービスを行う。

教育
福祉

病児・病後児保育事業
(30年度一般会計決算)

問 体調不良児保育(※)は、わかば・あおば保育園、薬師寺第二保育園の3園で実施されている。別の園に通う園児の体調が悪くなった場合、対象の3園に保育士などに連れていってもらえるのか。

答 1時間150円で実施している事業である。他の園からの送迎は行っていない。

※体調不良児保育
登園時、元気だった子どもが発熱など急な体調不良になった場合に、保護者が迎えに来るまで一時的に預かる。

教育
福祉

地域医療体制整備事業
(30年度一般会計決算)

問 下野市・上三川町方面への夜間休日病院の設置について伺う。

答 一次救急は小山広域の夜間休日急患診療所と、2つの医療機関(当番医制)で毎日行っている。小山医師会では、医師の確保ができないということで話が進んでいない。

経済
建設

市道整備事業
(30年度一般会計決算)

問 市道1-8号線等、道路を新設する際に最後の舗装がされるまでかなりの期間がある。その間、マンホールが高くなっているの、通行の妨げにならないように工事を進められないか。

答 安全対策として、段差をなだらかにすることや、色を付けたりすることを検討する。

教育
福祉

奨学金貸付事業
(30年度一般会計決算)

問 下野市に戻り生活する場合、返済を半額免除するなど、Uターンを後押しする考えについて伺う。

答 国では来年度から給付型奨学金制度が始まる。それにあわせ、本市でも給付型の検討を行っている。条件の中に、卒業後に市内在住の条件を入れるか検討している。

教育
福祉

東の飛鳥プロジェクト推進事業
(30年度一般会計決算)

問 東の飛鳥の今後の事業内容について伺う。

答 商標登録が完了したため、新たなグッズの作成や、観光部局との連携を図ったイベントを開催していく。



東の飛鳥関連グッズ



心 会 坂村 哲也 議員

【今回の質問】

1. 下野市総合計画による、これからのまちづくり

問 1-2 SDGsの取り組みを盛り込んだ計画であるのか伺う。

答 1-1 市長 改めて本市の強みと弱さを確認し、激変する社会情勢を十分捉えた後期基本計画となるよう進める。

問 1-1 まちづくりの最上位計画である総合計画の後期基本計画の策定において、本市のどのような強みを生かし、また課題を克服する内容とするのか。

答 1-2 市長 市の取り組みが17の目標のどこに位置づけられているのか整理し総合計画に盛り込むことにより、多くの施策がSDGsに関連していることを認識し、今後様々な計画がSDGsを意識したものとなることを期待している。

問 1-3 市役所周辺の都市核の形成を含めた、市街化区域の拡大に向けた取り組みについて伺う。

答 1-3 市長 対象エリア内の関係地権者との合意形成を図りながら、時間をかけて段階的に拡大していく。自治医大周辺はとも魅力があり、本市のまちづくりには都市核の形成が唯一無二の土地利用政策であるとの思いがあるため、活気や賑わいを生むコンパクトな都市核の形成に引き続き粘り強く取り組んでいく。

答 1-3 市長 対象エリア内の関係地権者との合意形成を図りながら、時間をかけて段階的に拡大していく。自治医大周辺はとも魅力があり、本市のまちづくりには都市核の形成が唯一無二の土地利用政策であるとの思いがあるため、活気や賑わいを生むコンパクトな都市核の形成に引き続き粘り強く取り組んでいく。



空から見た市役所周辺

※SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)とは、持続可能な開発のための17のグローバル目標と169の達成基準からなる、国連の開発目標である。



第3回定例会では会派代表質問が行われ、3名の会派代表者が質問しました。また、個人質問として8名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

一般質問は市ホームページで動画を公開しています。



清 明 会
石田 陽 一 議員

【今回の質問】

1. 公共交通の考え方を伺う
2. 防災に関する再認識の必要性について

0人を対象としたアンケート調査を実施し、モデ

答 1-1

市長 平成28年2月に県によつ

て下野市、壬生町、上三川町を結ぶバス路線検討ルートの沿線住民300人を対象としたアンケート調査を実施し、モデ

利用率が期待できるのかを伺う。

問 1-1

広域連携バスの実証運行はどこから出た話なのか、県の指導なのか、下野市の負担はどれくらいなのか、市民のためにはわかるが

ルケース路線として選定された。1市2町で合わせて1620万円(2分の1補助)、下野市の負担は424万3000円を見込んでいます。

問 1-2

石橋総合病院や自治医大病院への路線は話になかったのか。広域連携バスだけでなくデマンドバスやデ

をかけ、運行管理状況も全てお任せでなく市が関与し進めるべきである。

答 2

市民生活部長 先進事例や県の協力をいただきながらマニュアルの作成を研究していく。

問 2

防災・減災の訓練はできて、それでも被災してしまつた時の市の対応マニュアルはあるのか伺う。

答 1-2

市民生活部長 随時、事業者と打合せをし、なるべく市民に負担をかけないように進めたい。



下野市民派クラブ
中村 節子 議員

【今回の質問】

1. 市で受動喫煙防止のための条例を作れないか

問 1-1

7月1日に改正健康増進法の一部施行されたことにより、市役所に特定屋外喫煙場所が新設された。職員が使う場合の喫煙のルールはあるのか伺う。

答 1-1

市長 喫煙時間は昼休み、就業時間前、就業時間後を基

本とする。長時間滞在しない、喫煙場所の外で喫煙しないなどを指導した。喫煙・受動喫煙、たばこの害につ

答 1-2

市長 小学6年生と中学3年生

結果説明会で禁煙指導し、広報やHPで禁煙外来を周知。市独自の受動喫煙防止のポスターを作り、保健センター、公民館に

貼り啓発している。特に児童・生徒への教育は必要不可欠だが、市の取り組みを伺う。

答 1-3

市長 路上喫煙防止条例を令和3年度の施行に向けて進める。

法の全面施行後に状況を見て考えていきたい。

市として受動喫煙防止条例をつくるべきだと思うが。

問 1-4

今から作るのならば受動喫煙条例がよいと思うが。

答 1-4

市長 来年4月の改正健康増進



10月1日から運行を開始した1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」



下野市で作った受動喫煙防止のポスター

奥田 勉 議員

【今回の質問】

1. 多発する交通事故防止への対応



問
1-1

自転車安全利用促進について、全国的な先進事例、また、県内各自治体の取り組みについて伺う。

答
1-1

市長 全国的には、自転車の快適な利用促進に関しての基本的な理念を定め、自治体や自転車利用者の責務等を明らかにし、自転車の安全利用に関する条例を制定する自治体がある。栃木市では、「栃木市自転車の安全利用に関

問
1-2

する条例」を制定し、乳幼児、障がい者、高齢者その他の歩行者の安全に配慮する条文を盛り込み、市民相互の思いやりのある通行を確保するなどを目的としている。県内で条例を定めているのは、現在栃木市のみとなっている。

答
1-2

市長 本市の自転車安全利用条例の制定についての考えを伺う。市長 本市の自転車の安全利用

に関する取り組みについては、自動車や自転車を利用する運転者それぞれの交通安全意識の醸成が最も重要であると考え、小学生や高齢者を対象とした交通安全教室の開催など実施し、交通安全指導や啓発を実施している。自転車安全利用条例の制定については、先進地の状況を研究しながら検討していきたいと考えている。

大島 昌弘 議員

【今回の質問】

1. かんぴょうの産地維持
2. 投票率向上



問
1-1

生産者、流通業者との話し合いについて伺う。

答
1-1

市長 昨年10月に生産量日本一である本市のかんぴょう生産振興における諸課題を協議し、永続的な生産と地域ブランドとしての振興を目的に下野市かんぴょう生産協議会を設立した。本年5月に生産者協議会を開催し、かんぴょう生産維持に向けた具体的な取り組みとして労

問
1-2

働力確保及び必要な機械について協議し、現在アンケート調査している。また、県、市、町、生産者、JA、流通業者で構成する栃木県かんぴょう生産流通協議会を設置した。

答
1-2

市長 近年の気象変動は従来の変動幅を大きく超えるも

近年の長雨、日照不足、高温などの気象変動に対し、栽培方法の研究をしていく支援策について伺う。

のがあり、これまでの経験で培ってきた栽培方法では十分な対策を取るこゝとが難しく、かんぴょうの生育、収量、品質に大きな影響を及ぼしてきている。農業試験場では平成17年よりユウガオ関係の試験を中止し、新たな栽培技術や品種改良などを行っていない。今後県に対し、試験研究の再開を図り、生産技術の支援を行うよう積極的に働きかけたい。



ユウガオの実





五戸 豊弘 議員

【今回の質問】

1. 低所得者の生活支援
2. 生活保護
3. 耕作放棄地

はじめ、公民館、図書館等をクールスポットとして位置付けて、市民の皆様が涼を求め、気軽にお立ち寄りいただけるよう取り組んでいる。低所得者へのエアコンの電気代に

問 1

今年、夏、下野市では、38度と非常に高い気温になった。低所得者への生活支援としてエアコンの電気代を補助すべきではないか。

市長 昨年からは、市民が気軽に利用できるシステムづくりを図る必要がある」とし、健康増進に寄与するスポーツ教室開催等が例示されている。どのように進めるのか。



磯辺 香代 議員

【今回の質問】

1. 大松山陸上競技場、市民利用をどう進める
2. 文化芸術施設に関する市長の選挙公約の真意は？

問 1-1

大松山運動公園陸上競技場の供用が開始された。整備の基本計画では、「市民が気軽に利用できるシステムづくりを図る必要がある」とし、健康増進に寄与するスポーツ教室開催等が例示されている。どのように進めるのか。

答 1-1

教育長 今後積極的に取り組む。大会やイベントに利用されているとのことだが、関係者

問 1-2

今年、夏、下野市では、38度と非常に高い気温になった。低所得者への生活支援としてエアコンの電気代を補助すべきではないか。

教育長 今後積極的に取り組む。大会やイベントに利用されているとのことだが、関係者

問 1-3

ネット予約システムが利用しにくい。

答 1-3

教育長 システムを改修し空き状況を確認できるようにした。ただし、予約は各窓口でしていただきたい。

問 1-4

市民の不満がある。せめてもらえないという市民の不満がある。

答 1-4

教育長 市民の使用を抑制する考えは全くない。

問 2-1

生活保護の申請用紙を窓口に置くべきではないか。

答 2-1

市長 相談者一人一人を第一に考え相談者の声を聞くことが大切であると考え、窓口には申請用紙を置くとは考えていない。

問 2-2

生活保護受給者の車の保有について。

市長 生活保護受給者の車の保有について。

問 2-2

市長 病気や障がいのある方が通院等に公共交通機関を利用することが困難な場合は、例外的に容認される。

問 3

耕作放棄地により、雑草が伸びて近隣に迷惑がかかっている。

答 3

市長 農業委員会が現地を確認・指導し、耕作放棄地の適正な管理に努めていく。



大松山運動公園 陸上競技場

相澤 康男 議員

【今回の質問】

1. 運動公園の利便性向上に向けて



問 1-1

指定緊急避難場所になっている別処山公園、国分寺運動公園でのゲリラ豪雨、ゲリラ雷雨時に避難できる場所を考えているのか。

答 1-1

教育長 夏季を中心に局地的で突発的なゲリラ豪雨、落雷に対しては一時的に野球場の屋根付きベンチに避難していただければと考えている。

問 1-2

別処山公園と国分寺運動公園は

答 1-2

利用者の人数に差があるが何故か。別処山公園での陸上競技の実績はあるのか。

答 1-2

教育長 国分寺地区のグラウンドは3ヶ所、南河内地区は6ヶ所で利用人数に差があると考える。陸上競技の利用はない。

問 1-3

別処山公園のトイレ改修は考えているのか。

答 1-3

教育長 別処山公園のトイレの

問 1-4

別処山公園の遊具が撤去されたままだが、今後の計画はあるのか。

答 1-4

教育長 現在は未就学児童の遊べる遊具は無い状態であり、社会資本整備交付金を活用し、未就学児童が遊べる遊具の設置を来年度予定している。



別処山公園

石川 信夫 議員

【今回の質問】

1. 「愛国心」の醸成について



問 1

年次に「マンガで分かる! 東の飛鳥」が発刊された。この書には、天皇が常に人々の暮らしに寄り添い、度重なる災害が起きたこの時代に、税金を半額にしたり、大仏の建立、国分寺の建立等、天変地異から何とか国を治め、人々を貧しさから救おうと努力してきたお姿が記されている。先般、

答 1

教育長 身近な地域の歴史を学ぶことは、受け継がれてきた伝統や文化への関心

問 1

愛知の芸術祭において、昭和天皇の御真影が燃やされる動画が展示されるという前代未聞のことが起きた。この二書を学ぶことは、日本人としての「愛国心」の醸成、そして、郷土愛を大切にすることを育んでいくことになると思う。学校で活用していく考えはあるか伺う。

答 1

教育長 身近な地域の歴史を学ぶことは、受け継がれてきた伝統や文化への関心

問 1

を高める上でとても大切なことである。この二書は、子供たちの学習にとって大変有効な資料であり、これを活用して地域の歴史を学ぶことは郷土の醸成につながることを考えている。ただ、我が国と郷土を愛する心は子供たちに押しつけるものではなく、子供たちが自ら学んだ知識や経験の中から芽生え、育っていくものとも捉えている。





伊藤 陽一 議員

【今回の質問】

1. 出産と子育てがしやすい環境づくり
2. 幼児教育無償化に伴う保育園、幼稚園の給食費

問 1-2

ママ、パパ、リフレッシュ事業の利

あり、大きな特徴である。を行っているのが現状で

答 1-1

市長 本市の子育て支援は、給

付金としての支援ではなく子育て世帯への安心安全の提供という形で支援

問 1-1

現在の育児ママ

パリパリフレッシュ事業、子育て世帯外出支援事業、お母さんに感謝状の支援に加え、独自の支援はできないか。

③地下水は貴重な資源である。できるだけ長く利用するために、地下水の実態調査を実施されたい。

問 1

①基本法では

答 1

市長 ①この法

策策定は県、流域の近隣自治体と連携して定める。

問 1-2

ママ、パパ、リフレッシュ事業の利

あり、大きな特徴である。500円。この差額をなくせないか。子育て世帯の励みになる施策の実現

答 1-2

健康福祉部長 交付するとき

に比べて少ないと感じる。複数の保育園の違いを比較できるように、新人ママの不安を除くための対応はできるか。

問 2-1

保育園の副食代

として7500円。小学校の給食費は4500円。この差額をなくせないか。子育て世帯の励みになる施策の実現

②地下水涵養に取り組みたい。

問 2-1

保育園の副食代

として7500円。小学校の給食費は4500円。この差額をなくせないか。子育て世帯の励みになる施策の実現

答 2-1

健康福祉部長 恒久的な負担

に取組むべきである。市長 動向に注視しながら検討し、よりよい子育て支援の施策を考えている。

問 2-2

健康福祉部長

恒久的な負担となるので難しい。

③県条例による指定揚水施設の揚水量データ整理の検討を始めた。今後、



幼稚園の部屋の様子



村尾 光子 議員

【今回の質問】

1. 水循環基本法への対応と地下水涵養策、地下水調査を問う
2. 後期高齢者医療被保険者証をカードタイプにされたい

問 1

①基本法では

答 1

市長 ①この法

策策定は県、流域の近隣自治体と連携して定める。

②地下水涵養に取り組みたい。

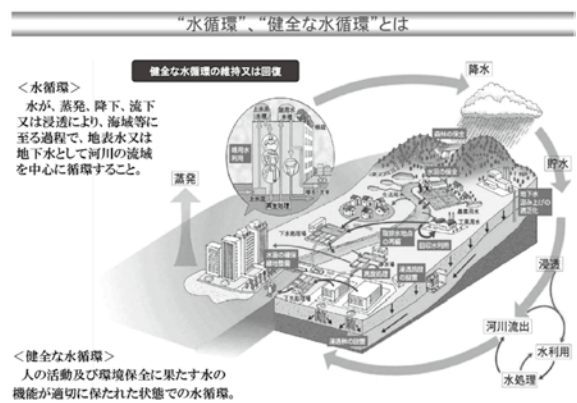
③地下水は貴重な資源である。できるだけ長く利用するために、地下水の実態調査を実施されたい。

②地下水涵養に取り組みたい。

③地下水は貴重な資源である。できるだけ長く利用するために、地下水の実態調査を実施されたい。

②地下水涵養に取り組みたい。

③地下水は貴重な資源である。できるだけ長く利用するために、地下水の実態調査を実施されたい。



「水循環”、“健全な水循環”とは」内閣官房水循環政策本部事務局資料「水循環基本法水循環基本計画」から

行政視察調査報告

議会運営委員会

※反問権…市長や執行部が議員に対して質問できる権利

(1) 帯広市議会（北海道）7月3日

帯広市議会の議員定数は29人であり、平成22年4月施行の議会基本条例に基づき先進的に議会改革に取り組み、平成29年から議員政策研究会を設置し、調査研究を行い、平成30年12月に「帯広市がん対策推進条例」を制定した。開かれた議会を進めるため、傍聴規則を改正。幼児の一時預かりの実施や議場における手話通訳を取り入れた。市民意見交換会は、「地域意見交換会」と「お出かけ意見交換会」の2つの方法で実施している。市長と議会との関係は、市長等に反問権（※）を付与している。

(2) 芽室町議会（北海道）7月4日

芽室町議会の議員定数は16人であり、平成25年に通年議会へ移行した。これに併せて、政策形成サイクルを導入し、委員会の所管事務調査や意見交換会で出た意見を基に政策提言するための年間スケジュール管理がされていた。平成24年度に議会モニター制度（町民）を導入し、平成28年度から20名に委任し、議会運営に反映させている。モニターから町議会議員に当選している方もいる。また、平成24年に議会サポーター制度（有識者）を導入し、平成28年度から8名にサポーターを増員した。このほか、議会改革諮問会議を設置して、議員定数や報酬額、政務活動費など議長からの諮問に答申している。また、議会ICT推進計画により、平成28年度にタブレットを導入し、ペーパーレス化を図った。

(3) 栗山町議会（北海道）7月5日

栗山町議会の議員定数は12人であり、平成14年から議会のライブ中継を開始し、一問一答方式の採用、定数削減、条例の修正可決。そして平成17年には、全国で2例目となる議会報告会の開催、平成18年に全国初となる議会基本条例を制定した。議会運営では、町長等に反問権（※）を付与し、平成18年からの10年間で、一般質問の中で9回反問している。議会報告会は3班に分かれ12会場で259人の参加（平成30年）があり、このほか出前議会報告会も開催している。議会モニター制度（町民）を取り入れており、モニターの経験者から平成31年の改選時には2名当選している。議会サポーター制度（有識者）では、5名を講師兼サポーターとして無報酬で委嘱している。議会改革推進会議は、議会基本条例の見直しを毎年検討している。平成18年から27年まで全国から665団体、5,517人の行政視察を受け入れている。

教育福祉常任委員会

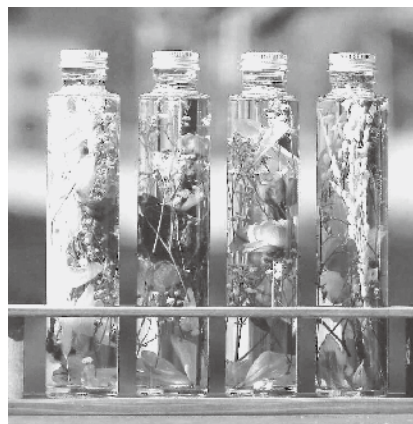
※NIE…新聞を活用した学習活動

(1) 学力向上の取り組みについて 横手市（秋田県）6月20日

横手市教育委員会では、「郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち横手」を教育目標に定め、主な学力向上の取り組みとして、①指導主事等による学校訪問、②「言語活動の充実」による学力向上推進事業、③学校図書館経営の充実とNIE（※）の積極的な推進、④教育専門監の活用（県の事業）、⑤就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、⑥特別支援教育の充実等、市全体の教育・歴史・文化・産業の良さを伝えながら「ふるさと横手を愛する心」を醸成させる取り組みをしていました。

(2) 農業・福祉の連携について (株) スクールファーム河辺（秋田県）6月21日

秋田市において廃校となった旧市立赤平小学校を利活用し、2012年度からスクールファーム河辺がスタートし、LED光源の完全閉鎖屋内型野菜ファクトリーを設備し、就労継続支援A型では、6名の利用者が、就労継続支援B型では21名の利用者が菓子箱折り等の軽作業やハーバリウム工房での多種作業等を行っており、作業や生活の中で様々な目標づくりの支援や共同作業、生活の中で特に他者への配慮重点指導され、最終的な目標として一般就労に巣立つことを目標として、ビジネスと福祉を両立していました。



ハーバリウム

議会だより編集委員会

高松市と鳴門市では共通することがいくつかありました。

【共通点①】 ケーブルテレビの活用

高松市はケーブルテレビの自主放送による議会中継、再放送を行っています。他にも、インターネット中継、フェイスブックなど複数の媒体を活用し、議会情報の発信を行っていました。

鳴門市は議会だよりの発行までには約2か月かかっていますが、補うものとしてケーブルテレビで30分の議会広報番組を作成し、15日もの間、放送を行っているのが印象的でした。

【共通点②】 モニター制度

高松市も鳴門市も、市の広報とあわせての市民アンケートを実施し、市民の声を聞いていました。

次に、それぞれの市の議会だよりの特徴です。

【高松市】 発行までのスピードに驚きました。議会閉会から約半月後には発行し、タイムリーに市民に議会の様子を伝えていました。ページは8ページで、簡潔にまとめられていました。誰にでも読みやすいユニバーサルデザインの文字を使用。配色も視覚障害者への配慮がありました。

【鳴門市】 大きな特徴としては、市民の関心が高い内容を記事にし、文字数を抑え、字を大きくして読みやすい紙面にしているところです。議会だよりを読んだの疑問点・意見などを「市民の広場」として募集するなど、親しみやすい広報づくりをしていました。

本市では、今年12月に地域のラジオ局「FMゆうがお」が始まります。今後、ケーブルテレビやこのFM放送を議会広報に活用することも検討できればと思います。また、今年8月に本市の議会だよりでもモニター制度を開始し、市民の声を聞く体制ができました。

高松市からは、タイムリーに広報紙を出すことの重要性、鳴門市からは、情報を詰め込み過ぎず、読みやすく、手に取ってもらいやすい広報紙づくりを学びました。これからの紙面づくりに生かしていきます。

- (1) 高松市議会(香川県) 8月1日
- (2) 鳴門市議会(徳島県) 8月2日



市議会主催の講演会を開催 7月9日



「水道事業の現状と課題ー安心・快適な水の供給確保ー」と題して、日本水道協会公務部技術課長の柴藤廣公先生に講演して頂きました。水道の歴史から、近代の水道が果たす役割や課題、今後の人口減少を見越した水道事業の運営まで、幅広くお話しいただきました。下野市の水道事業でも課題となる老朽化する施設や管路の更新費用、事業運営が厳しさを増すことが予想されます。計画的な施設の保全、点検、更新、自治体間での事業の広域化などの取り組みが必要になってくると感じました。示唆に富んだ実りある講演となりました。(※講演会資料はHPでご覧いただけます。)

小山広域保健衛生組合 9月3日 リサイクルセンターを視察



下野市下坪山に平成31年春に開所した、小山広域リサイクルセンターを視察しました。

職員から映像で説明を受けた後に、搬入受付や分別ヤード、資源を選別する各ラインの見学をしました。市民にとりましても、下野市内にあるリサイクルセンターで受け入れ対象物であれば持ち込みもでき、リサイクル率の向上につながるものと思います。

(※ご利用の際は、リサイクルセンターにお問い合わせください。TEL 39-8844)

市民と議員の意見交換会(議会報告会)

令和元年7月27日

7月27日(土)に市民の皆様との意見交換会を行いました。各常任委員会3グループに分かれて、議会活動の報告をしたのち、皆様からのご要望等をお聞きしました。いただきました貴重なご意見は、今後の議会活動に活かしていくとともに、執行部への要望等も行っていきます。

意見の内容(抜粋)

- 陳情の審査内容及び賛否を詳しくホームページに公開してほしい。
→ 陳情書及び審査結果をホームページで、賛否は議会だよりで公開しました。
- 次回の市議会主催講演会で地下水の保全、有効活用の講演をしてほしい。
→ 参考にさせていただきます。水道事業に関する講演会の資料はホームページで公開しました。
- 公金詐取事件については、経過を報告し、議会は放置することのないようにしてほしい。
→ 引き続き取り組んでいきます。
- リサイクルセンターの周辺で異臭がする。周辺住民への影響がないか調査し、対策を願う。
→ 9月3日に議会で現地調査をした結果、施設周辺の家畜臭と思われます。
- 大松山運動公園のこもれび広場、パターゴルフの広場に日陰となり休憩できる大きな四阿あずまやがほしい。
→ 日陰や休憩所が十分なのか市内の類似施設を含めて検討します。
- 市内の障がい者雇用は進んでいるか。→ 市内で、県知事及び厚生労働大臣から、障がい者雇用優良事業所として表彰を受けた事業所が出ています。
- 特別養護老人ホームは入所が難しいと聞いている。→ 女性室数の比率が高く、男性が入居待ちの傾向です。特養の空きは少ないか、空きがあっても介護スタッフ不足により、受け入れが難しい状況もあります。

議会だよりモニター制度を導入

公募により9名の市民の皆様が議会だよりモニターとして選ばれました。

早速、先号への意見として、「写真をもう少し明るく」「余白が少なく、文字が多すぎる」等のご意見やご感想をいただきました。

提出されたご意見等を参考に、これまで以上に分かりやすい、そして読みやすい議会だよりを市民の皆様にお届けできるよう、努力していきます。

議会だよりモニターについて

- 議会だよりモニターの役割
市議会が行う広報活動に関してアンケート調査等にご協力いただきます。
- 任期：令和元年8月1日～令和3年3月31日



意見交換会でいただきました ご意見等を市長に提出しました

3月24日(日)に開催した「市民と議員の意見交換会(議会報告会)」にて、市民の皆さんからいただいたご意見等について、「議会で取り組むもの」、「執行部と協議するもの」に分け、各常任委員会や議員全員協議会で検討を重ねてまいりました。今回、広瀬市長に「市行政に対する要望・提言等」を行いました。



秋山議長、石田副議長が広瀬市長に
要望・提言等を提出しました

中学生議会を傍聴して

8月20日（火）、第3回となる中学生議会が、庁舎4階の議場にて開催されました。

「防災について」「下野市のゴミや衛生」「農業従事者の高齢化と後継者問題について」「石橋駅前商店街の空洞化について」等を市長や教育長をはじめ、市執行部に質問をしました。単に疑問を投げかけるだけでなく、事前の調査等を十分に行った上で質問に臨んでいました。自分達が住む街への想いがあるからこそできる素晴らしい一般質問であり、私達も中学生の皆様の姿をみて、改めて議員としての姿勢を考えさせられる機会となりました。（坂村哲也）



議会の動き

8月

- 1日～2日 議会だより編集委員会行政視察
(香川県高松市、徳島県鳴門市)
- 5日 議員全体視察研修(大田原市)
議会活性化特別委員会
- 6日 東京都小金井市行政視察来庁
- 7日 県南6市議会議長会議員研修会・定例会
- 8日 静岡県浜松市行政視察来庁
- 20日 中学生議会
- 22日 教育福祉常任委員会
- 23日 総務常任委員会
- 26日 経済建設常任委員会
- 29日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 30日 議会だより編集委員会

9月

- 3日 議会運営委員会・議員全体視察研修
(小山広域リサイクルセンター)
- 5日～27日 第3回定例会
- 12日～13日 経済建設常任委員会
- 17日 総務常任委員会
- 19日～20日 教育福祉常任委員会
- 25日 議会運営委員会・議員全員協議会

10月

- 1日～2日 経済建設常任委員会行政視察
(福井県大野市、愛知県豊橋市)
- 8日 栃木県市議会議長会議員及び事務局職員研修
- 9日 議会だより編集委員会
- 10日 小山広域保健衛生組合第3回定例会
- 17日～18日 市町村議会議員特別セミナー
- 23日 議員全員協議会・議会だより編集委員会
- 25日 議会活性化特別委員会・正副委員長会議
- 30日～31日 全国市議会議長会研究フォーラム
(高知県高知市)

議場コンサートのご案内

第4回定例会初日に、下野市文化協会との共催により、議場コンサートを行います。入場は無料、先着順とさせていただきます。

皆様のご来場をお待ちしております。

日時：11月28日(木)

午前9時～9時30分

出演：下野混声合唱団



昨年の様子

議会を傍聴してみませんか

傍聴は、会議当日に、市役所4階にて受け付けております。皆様のご来場をお待ちしております。



「議会ICT化について」^(※)

～さらなる議会改革を目指して～

議員間討議の中で、平成29年度から議会ICT化についての討議がなされ、議会運営委員会において、平成29年に青森県八戸市議会、平成30年に三重県伊賀市議会・四日市市議会、令和元年には北海道芽室町議会（16ページに視察報告）の視察を行いました。本年7月4日の北海道芽室町議会では、議会ICT推進計画によって、情報公開と住民参加という双方向のネットワークを充実・強化することにより、見える化、効率化、政策形成力向上を図るため、平成28年度にタブレットが導入されました。



大田原市議会での視察

8月5日には、議員全員で県内で初めてタブレットを導入した大田原市議会を訪れ、タブレットと議場モニターについて視察研修を行いました。

その後、9月25日の議員全員協議会では、タブレット導入について全議員が賛同し、導入に向けてさらなる検討を行っています。（大島昌弘）

※ICT化…インターネットを通じて人と人をつなぐ技術

第4回定例会(12月議会)の予定

※会議の予定は変更になることがあります。
※日程が決定次第、市ホームページでお知らせいたします。

日	月	火	水	木	金	土
11月17日	18	19	20	21	22	23
				議会運営委員会	議会だより編集委員会	勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29	30
		19ページに関連記事		本会議(開会) 議場コンサート	本会議(一般質問)	
12月1日	2	3	4	5	6	7
	本会議(一般質問)	本会議	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
8	9	10	11	12	13	14
				本会議(閉会) 議会だより編集委員会		

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳CDを貸し出しています。連絡先：(43) 1236

次号(No.55)は2月15日に発行します

- 議会だより編集委員会
- 委員長 中村節子
 - 副委員長 大島昌弘
 - 委員 坂村哲也
 - 五戸豊弘
 - 石川信夫
 - 相澤康男

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約15.4円です。

先月発生した台風19号により、本市においては人的な被害はなかったにしても、浸水等による影響で多大な被害を受け、改めて自然災害の恐ろしさを痛感させられました。今回の教訓を生かし、被害を最小限に抑えるための対策を講じていかなければならないことを強く感じています。

被害に遭われた皆様へお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く元の生活に戻れるよう心よりお祈りしています。

前号から議会だよりモニター制度が導入されました。記事でも述べましたが、早速たくさんの方の貴重なご意見もいただきました。私たち議会だより編集委員会は、市民の皆様にご意見を参考にし、より良い議会だよりをお届けしていきますので、今後ともどうかご期待いただければと思います。（坂村哲也）

